



*Press Release*

2014年9月5日

ダウ化工広報室

## ダウ化工、北広島市へ理科教材を寄贈 ～地域の理科教育の充実に貢献～



(寄贈式の様子)

ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：杉山 隆博）は、2014年、北海道北広島市への寄贈プログラムを初めて実施しました。2014年9月4日、ダウ化工札幌工場長の近藤 安紀およびダウ化工北海道営業所所長の齋藤 新悟が北広島市立広葉中学校を訪問し、上野 正三 北広島市長に寄贈目録を手渡しました。ダウ化工は、北広島市に所在する札幌工場において断熱材の「スタイロフォーム™」を生産しています。

2014年よりダウ化工は、北広島市役所を通じてダウの地域貢献を目指した寄贈プログラムを開始しました。同プログラムにおいてダウ化工は、市内の中学校へ理科教材を寄贈しました。ダウ化工による北広島市への寄贈プログラムは、次世代を担う子どもたちが、科学・化学への関心を高めることを目的としています。

### 2014年寄贈内容：

- 生物顕微鏡 20 台、双眼実体顕微鏡 4 台、その他実験器具 （合計 53 点）

寄贈先：大曲中学校、広葉中学校、西の里中学校、東部中学校

ダウ化工は、米国の石油化学品メーカー、ダウ・ケミカルの子会社です。ダウ化工は、その前身である旭ダウの時代を含め、1969年より北広島市で「スタイロフォーム™」住宅・ビル用断熱材の生産に従事しています。ダウ・ケミカルは、生産活動に従事する世界各地でさまざまな地域貢献活動を行っています。これらの活動は、「ダウ 2015年持続性目標」の基本方針のひとつである「地域社会繁栄への貢献」を実践したものです。日本での活動は、自社工場所在地である地元地域の安全、環境保護および若い世代の科学・化学への関心を高めることを目的に、寄贈プログラムを続けています。

ダウ化工札幌工場長の近藤 安紀は、「ダウ化工が各拠点で継続している寄贈プログラムが、札幌工場が所在する北広島市でも開始されたことを喜ばしく思います。若い世代における科学分野への関心の低下が指摘される中で、地域における科学教育の充実ならびに札幌工場の生産活動を通じた地元経済の発展に向けて、今後も微力ながら貢献していく所存です」と述べています。

®™ ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

---

---

ダウ化工広報室 沢登（電話：03 5460 6276 メール：rsawanobori@dow.com）

★ 写真をご希望の方は沢登までご連絡ください。

ダウは、科学技術の力を用いて、人々の進歩に本当に必要なことにイノベーションを起こします。化学、物理、生物学の力を結集し、清潔な水、クリーンエネルギーや省エネ、農業の生産性向上など、世界が直面する課題の解決に取り組んでいます。化学産業を代表する、ダウの統合化された機能性化学品、先端材料、農業科学品およびプラスチック事業は、成長著しい包装材料、エレクトロニクス、水、コーティングや農業などの分野において、約180カ国で製品やソリューションを提供しています。2013年の年間売り上げは570億ドル以上、従業員数は約5万3千人です。世界36カ国201カ所の生産拠点で、6千を上回る製品の生産に従事しています。米国ミシガン州に本社を置くダウは、1973年に東京証券取引所に上場した最初の外国企業です。www.dow.com